



各位

2013年4月18日

株式会社 おきぎん経済研究所

## おきぎん県内景況・確報(2013年2月分)

個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。

**\* 2ヵ月連続・判断据え置き \***

### ○個人消費関連

スーパー売上高・百貨店…スーパー売上高は「全店ベース」で前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額…太陽光パネルの駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

新車登録台数…エコカー補助金制度終了により一部で需要の減少がみられるものの、レンタカー需要の増加などにより前年同月を上回る。

### ○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数、セメントは前年同月を上回り、生コンはわずかに下回る。

### ○観光関連

入域観光客数…5ヵ月連続で前年同月を上回る。

主要大型ホテル稼働率…那覇市、西海岸、ビジネスで前年同月を上回る。

観光施設入場者数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

### ○倒産・雇用

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。有効求人倍率…前月と同水準。

### ○生産関連

鉱工業生産(1月)…前月より下落。

大口電力使用量…前年同月を下回る。

### ○物価関連…消費者物価指数は前年同月を下回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格は上回る。

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

担当: 當銘(全般・建設関連)、上地(観光関連)、喜瀬(個人消費関連)

電話: 098-869-8711(代表)、ファクシミリ: 098-869-2200

**現場主義とお客様からの信頼**

おきぎん県内景況・確報(2013年2月分)

◎2013年2月 おきぎん「カトレア」景況図



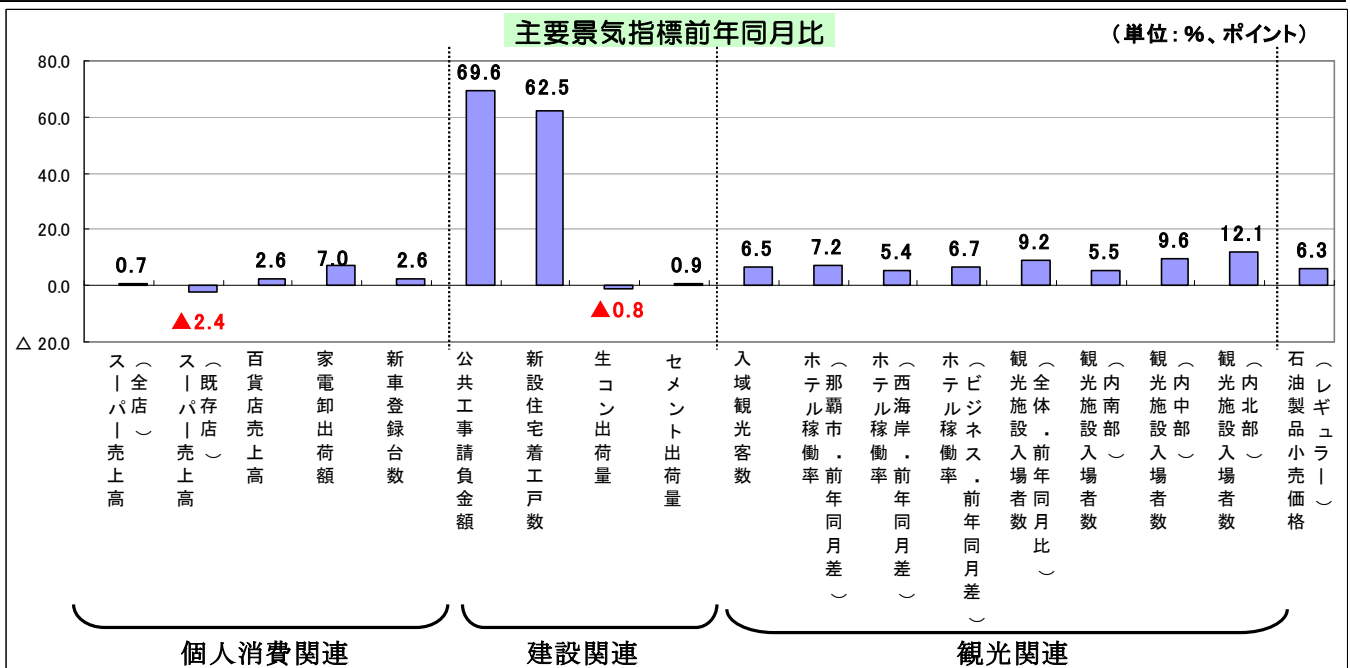
◎概況： 個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。

2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は食料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回りました。新車登録台数は、レンタカー需要の増加により、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は国や市町村発注工事により前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コンは下回り、セメントは上回りました。

観光関連では、入域観光客数は5ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率は那覇市内主要ホテル、西海岸リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている」と景気判断を上方修正しました。(上方修正後、2ヵ月)



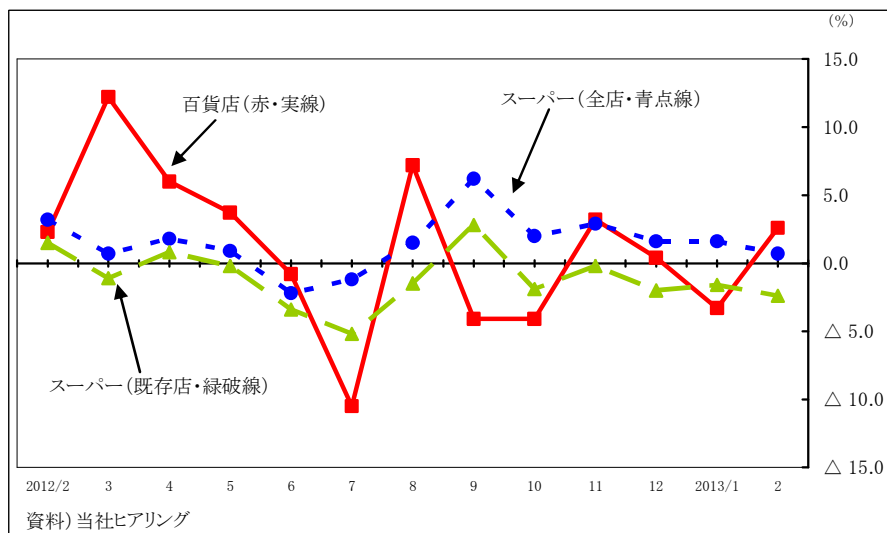
■個人消費:  (ふつう)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースでは下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2012/2	3.2	1.5	2.3
3	0.7	△ 1.1	12.2
4	1.8	0.8	6.0
5	0.9	△ 0.2	3.7
6	△ 2.2	△ 3.4	△ 0.8
7	△ 1.2	△ 5.2	△ 10.5
8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6

注) 前年同月比



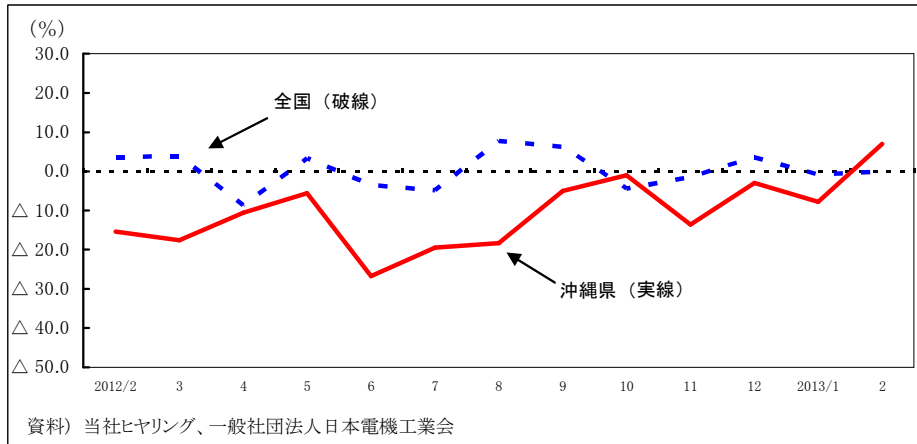
2月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 0.7%増)」が7ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 1.2%増)」や「家庭用品(同 0.2%増)」が前年同月を上回りました。

一方、「既存店ベース(同 2.4%減)」では5ヵ月連続で前年同月を下回りました。(以下、既存店ベース)品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 1.7%減)」は、うるう年であった昨年に比べ、今年は営業日が1日少なかったことから前年同月を下回りました。「衣料品(同 5.8%減)」は、昨年よりも気温が高かったことから、冬物衣料などの売上が低調で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 4.2%減)」は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷に加え、気温が高く暖房器具の売れ行きが低調であったことなどから前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、食料品や身の回り品などの売れ行きが好調で、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 2.6%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 0.2%減)」は、「婦人服(同 3.9%減)」が一部店舗撤退の影響に加え、気温が昨年よりも高かったことなどにより前年同月を下回り、「紳士服(同 2.6%減)」も冬物処分セールなどが不調で前年同月を下回りました。一方、「食料品(同 1.5%増)」は食料品催事やバレンタイン企画などの売上が好調だったことなどから前年同月を上回りました。また、「身の回り品(同 7.4%増)」は昨年1月に行ったセールを今年2月にシフトしたことなどにより、「雑貨(同 5.9%増)」は、リニューアル効果(2012年3月)の継続などにより前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回る。

単位:%		
	沖縄県	全国
2012/2	△ 15.4	3.7
3	△ 17.6	3.9
4	△ 10.6	△ 8.7
5	△ 5.6	3.3
6	△ 26.8	△ 3.5
7	△ 19.5	△ 4.9
8	△ 18.3	7.7
9	△ 5.0	6.3
10	△ 1.0	△ 4.4
11	△ 13.6	△ 1.5
12	△ 3.0	3.5
2013/1	△ 7.8	△ 0.8
2	7.0	0.0

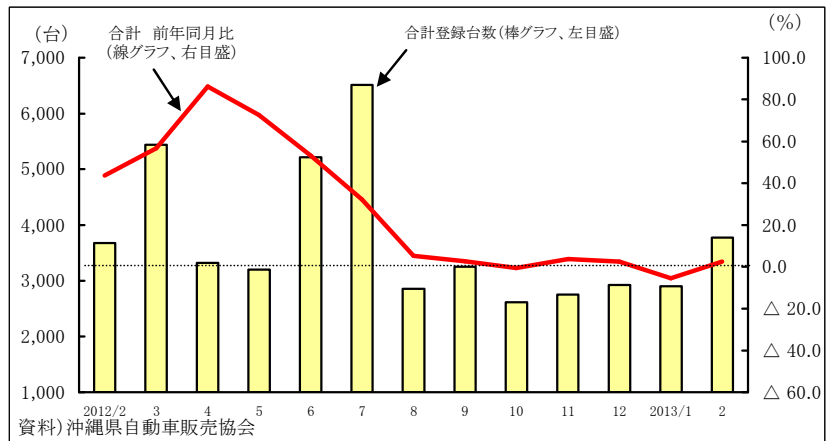


注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、太陽光パネルの駆け込み需要が発生し、19 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました(同 7.0%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 43.6%増)」は、「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の買取価格見直しを前に需要が増加し、前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同 3.0%増)」も継続的なエコ関連商品需要の高まりやそれに伴う販売促進活動等により前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 41.8%減)」や「DVDレコーダー(同 19.7%減)」は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。「洗濯機(同 15.9%減)」や「エアコン(同 25.7%減)」も前年同月を下回りました。

③新車登録台数…レンタカー需要の増加などにより前年同月を上回る。

単位:台、%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/2	3,679	43.7	31.2	77.4	30.6
3	5,439	56.7	64.8	77.9	46.9
4	3,323	86.3	205.0	25.5	122.7
5	3,200	72.6	71.5	96.3	68.4
6	5,212	53.2	23.0	46.1	76.7
7	6,511	32.1	41.3	9.7	75.7
8	2,856	5.3	12.9	△ 12.9	24.3
9	3,248	2.7	△ 12.2	△ 12.8	13.9
10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7



注) 前年同月比

**新車登録台数**は、全体で 3,776 台となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました(同 2.6%増)。エコカー補助金制度終了(2012年9月21日)の影響により一部で需要の減少が見られるものの、レンタカー需要が好調に推移したことなどから、「普通乗用車(同 7.4%増)」は6 ヶ月ぶり、「小型乗用車(同 6.6%増)」は2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。また、新商品(新車種、モデルチェンジ等)の需要が堅調に推移した「軽乗用車(同 2.7%増)」は17 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

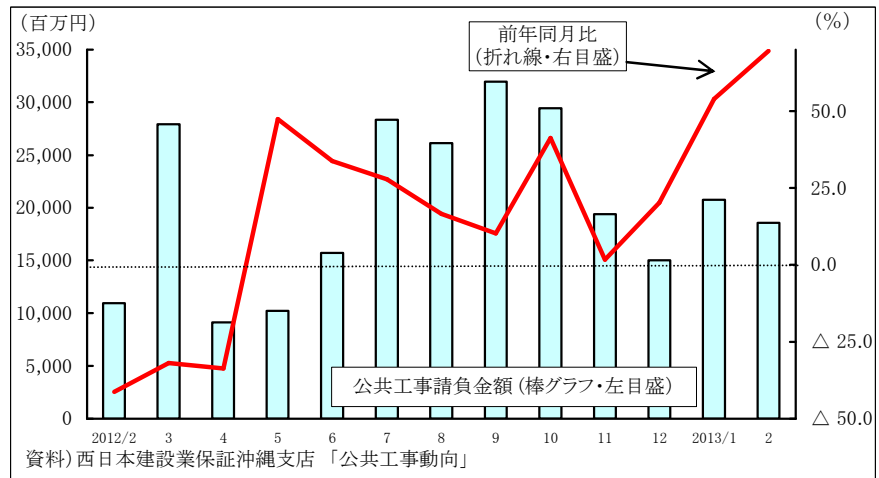


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2012/2	10,960	△41.3
3	27,923	△31.9
4	9,119	△33.7
5	10,203	47.4
6	15,723	33.7
7	28,340	27.8
8	26,136	16.6
9	31,974	10.2
10	29,432	41.3
11	19,400	1.7
12	14,996	20.2
2013/1	20,766	54.0
2	18,588	69.6

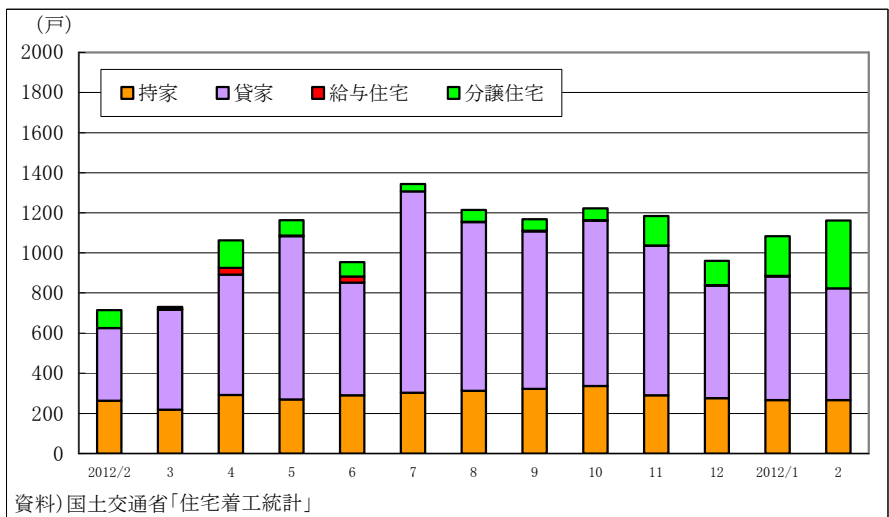


2月の**公共工事請負金額**は、前年同月比69.6%増の185億8,800万円となりました(10ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同31.1%増)」は名護市での道路トンネル工事、「市町村(同63.5%増)」は那覇市内での市営住宅建替工事などの大型工事や、その他機関でも増加し前年同月を上回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数、セメントは前年同月を上回り、生コンは下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2012/2	715	△34.7
3	730	17.7
4	1,062	△37.0
5	1,164	102.8
6	954	△17.1
7	1,344	45.6
8	1,215	14.5
9	1,168	29.3
10	1,223	19.9
11	1,184	11.7
12	961	4.5
2012/1	1,083	9.1
2	1,162	62.5

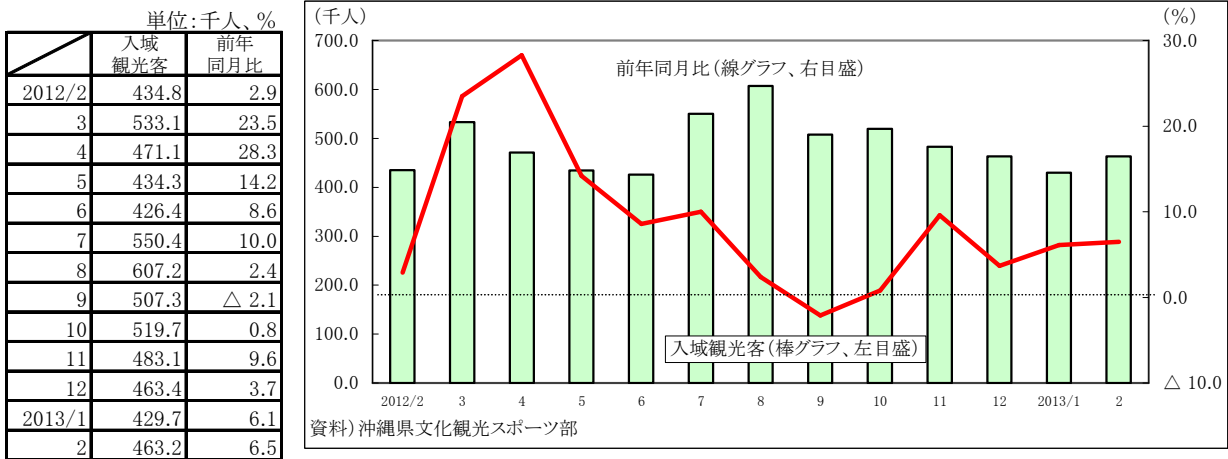


2月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比62.5%増の1,162戸と8ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同54.3%増)」のほか、「持家(同0.8%増)」や「分譲住宅(同276.7%増)」は前年同月を上回りました。**建設資材関連**では、生コンの出荷量は0.8%減少し、5ヵ月ぶりに前年同月をわずかに下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より7.4%増加したものの、民間工事向け出荷が6.1%減少しました。セメントの出荷量は0.9%増と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連： (やや良い)

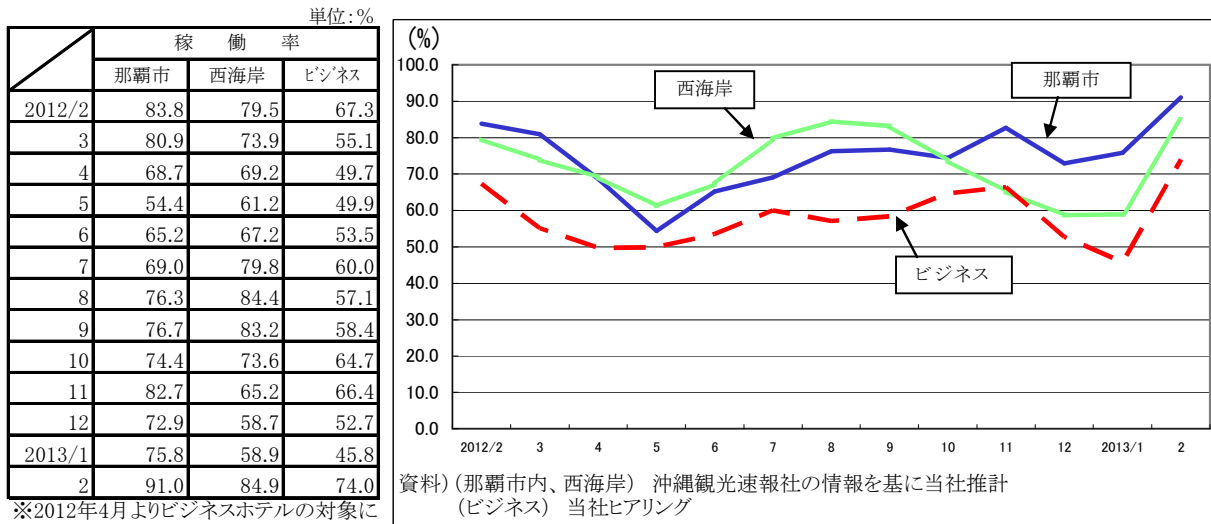
①入域観光客数…5ヵ月連続で前年同月を上回る。



2月の入域観光客数は、前年同月より6.5%(28,400人増)多い463,200人となり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、「国内客(同4.8%増)」は2月の3連休(2/9-11)や、LCCの誘客効果等に加え、プロ野球キャンプ効果や修学旅行などにより前年同月を上回りました(5ヵ月連続)。主要路線別でみると、「名古屋(同1.8%減)」を除く各路線で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同52.2%増)」は、24,500人(16,100人増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。航空路線の拡充に加え、今年の春節(旧正月)が2月(前年は1/23)となったことから「台湾(同134.3%増)」「韓国(同83.0%増)」は引続き好調に推移し、「中国本土(同51.9%減)」「香港(同14.3%増)」からの入域客数も持ち直しの動きがみられました。

②ホテル稼働率…那覇市内主要ホテル、西海岸、ビジネス全てにおいて前年同月を上回る。



※2012年4月よりビジネスホテルの対象に変更があった為、遡って修正している。  
\*那覇市内8ホテル、西海岸11ホテル、ビジネス7ホテル

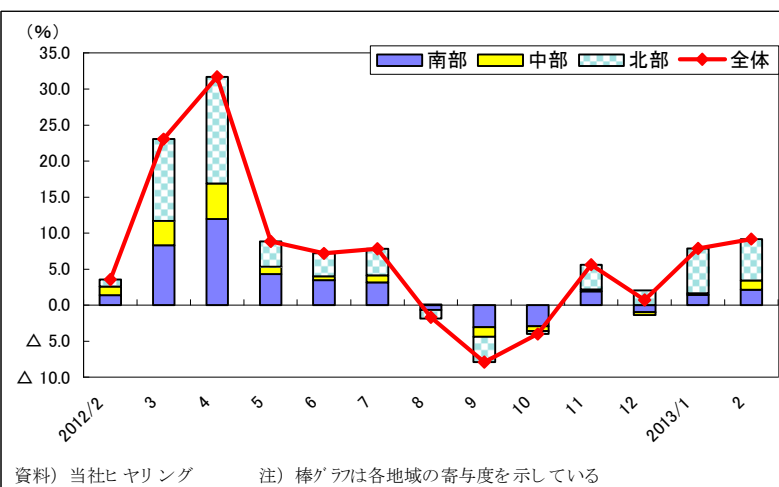
県内ホテル稼働率は、那覇市内主要ホテルが91.0%と7.2ポイント上昇(6ヵ月連続)、西海岸リゾートホテルが84.9%と5.4ポイント上昇(2ヵ月ぶり)、那覇市内ビジネスホテルが74.0%と6.7ポイント上昇(12ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/2	3.4	3.5	8.0	2.0
3	23.1	20.2	24.7	25.2
4	31.7	29.7	33.4	33.0
5	8.8	10.7	7.5	7.6
6	7.2	8.5	4.3	6.8
7	7.8	9.5	8.9	6.6
8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.6	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より9.2%増加(4ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同5.5%増と2ヵ月連続、中部は同9.6%増と2ヵ月連続、北部は同12.1%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

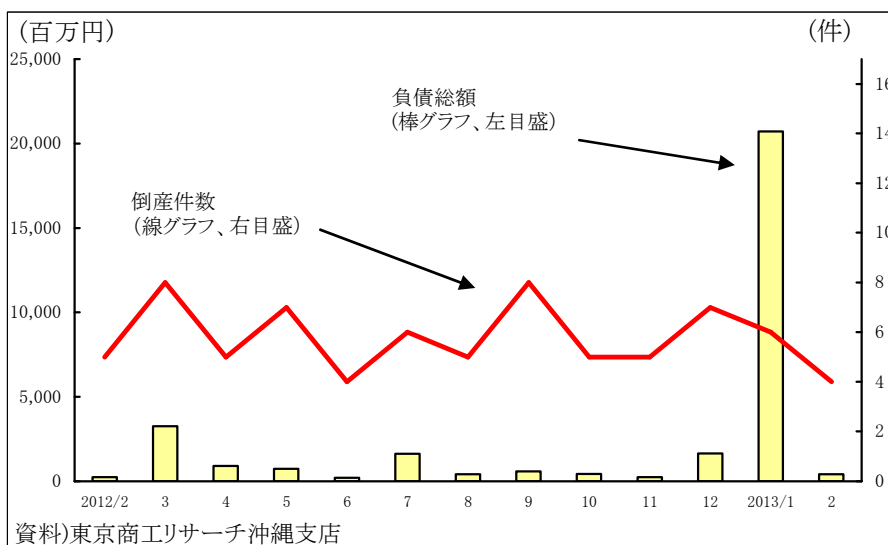


■企業倒産:  (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2012/2	249	5
3	3,249	8
4	887	5
5	729	7
6	207	4
7	1,630	6
8	405	5
9	578	8
10	428	5
11	244	5
12	1,648	7
2013/1	20,703	6
2	406	4



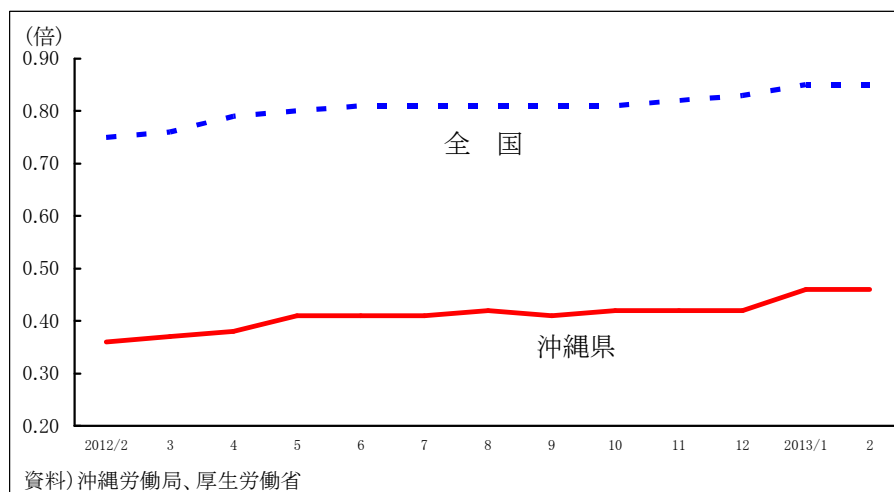
2月の**企業倒産件数**は、4件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産2件)発生し前年同月より1件少なくなりました。負債総額は4億6百万円と前年同月より63.1%増加しました。

■雇用関連:  (ふつう)

有効求人倍率…前月と同水準。

単位:倍


	沖縄県	全国
2012/2	0.36	0.75
3	0.37	0.76
4	0.38	0.79
5	0.41	0.80
6	0.41	0.81
7	0.41	0.81
8	0.42	0.81
9	0.41	0.81
10	0.42	0.81
11	0.42	0.82
12	0.42	0.83
2013/1	0.46	0.85
2	0.46	0.85



注)季節調整済  
注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

2月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.1%増の15,839人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.1%増の34,446人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.46倍で前月と同水準となりました。完全失業率(原数値)は前年同月より1.6ポイント低下し、5.6%となりました。

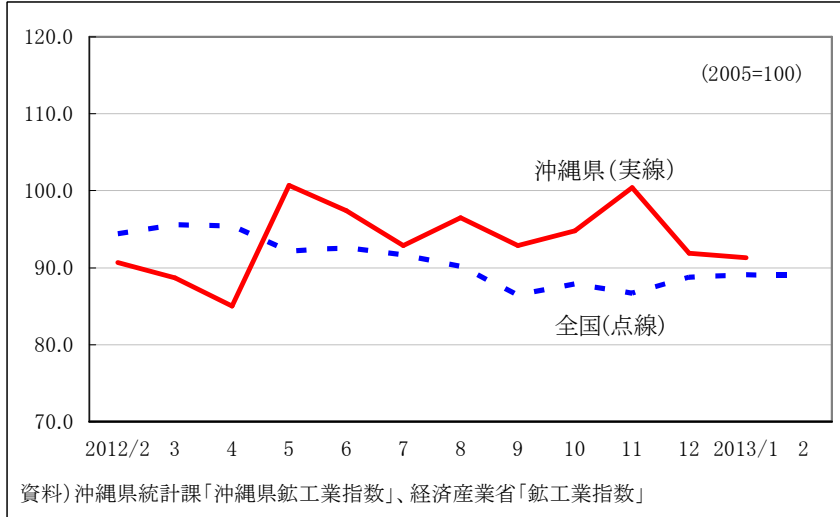


■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より下落。

	沖縄県	全国
2012/2	90.7	94.4
3	88.7	95.6
4	85.0	95.4
5	100.7	92.2
6	97.4	92.6
7	92.9	91.7
8	96.5	90.2
9	92.9	86.5
10	94.8	87.9
11	100.4	86.7
12	91.9	88.8
2013/1	91.3	89.1
2	-	P 89.0

注1) 数値は季節調整済指数  
注2) 基準は2005年=100

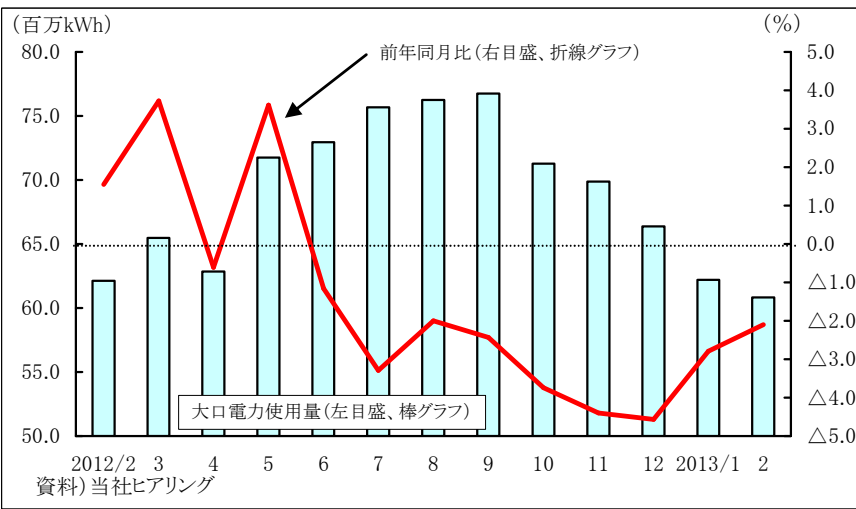


鉱工業生産指数(県内:1月)は、前月より0.7%下落し、91.3となりました。産業別にみると、「繊維工業(同 16.7%減)」や「食料品工業(同 9.1%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を下回る。

単位: 百万kWh、%

	大口電力 使用量	前年 同月比
2012/2	62.1	1.5
3	65.5	3.7
4	62.8	△0.6
5	71.7	3.6
6	73.0	△1.2
7	75.7	△3.3
8	76.3	△2.0
9	76.8	△2.4
10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8
2	60.8	△2.1

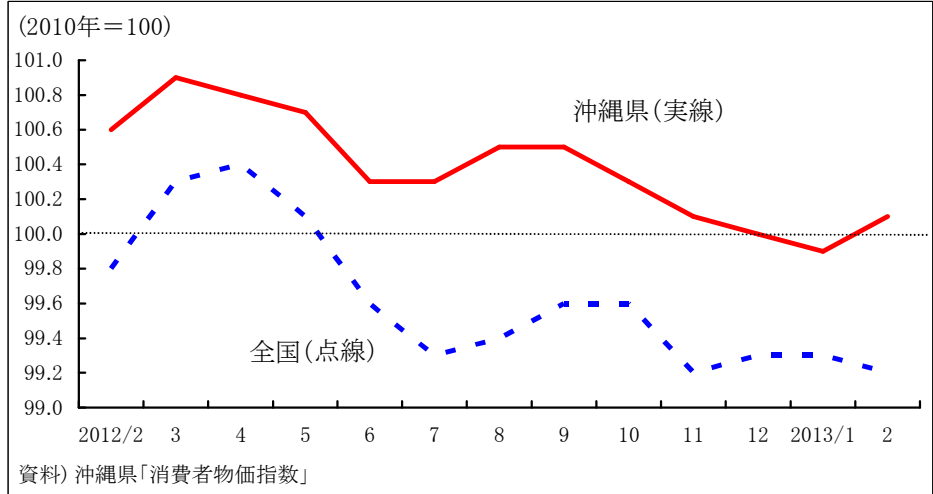


2月の大口電力使用量は、「鉄鋼製造業(同 7.8%増)」が前年同月を上回ったものの、水道業などの「その他(同 8.0%減)」などが前年同月を下回り、全体では前年同月より2.1%減少しました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を下回る。

	沖縄県	全国
2012/2	100.6	99.8
3	100.9	100.3
4	100.8	100.4
5	100.7	100.1
6	100.3	99.6
7	100.3	99.3
8	100.5	99.4
9	100.5	99.6
10	100.3	99.6
11	100.1	99.2
12	100.0	99.3
2013/1	99.9	99.3
2	100.1	99.2



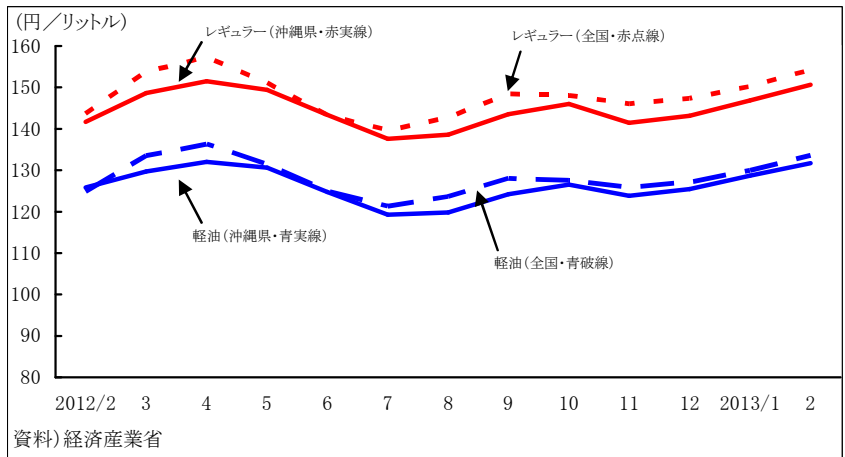
注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

2月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比0.5%下落し、100.1となりました。内訳をみると、生鮮野菜などを含む「食料品(同1.5%減)」等が全体を押し下げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。

単位:円/リットル

	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
2012/2	141.7	125.8	143.7	124.9
3	148.6	129.7	153.8	133.5
4	151.5	132.0	157.3	136.3
5	149.4	130.6	151.1	131.4
6	143.4	124.7	143.3	124.9
7	137.6	119.2	139.6	121.3
8	138.6	119.9	142.7	123.6
9	143.6	124.2	148.5	128.0
10	146.0	126.5	148.1	127.6
11	141.4	123.8	146.0	125.9
12	143.2	125.4	147.4	127.2
2013/1	146.8	128.7	150.3	129.9
2	150.6	131.7	154.2	133.6



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

2月のガソリン小売価格は、県内、全国において「レギュラー」、「軽油」ともに前年同月を上回りました。県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より6.3%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より4.7%(消費税込価格)上昇しました。